

ゲーテの会



日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

日本社会の古層から日本的なものを発掘した人物
(Part IV 思想・文学分野)

『走れメロス』と『坊っちゃん』

における友情

田島 正樹

講師： 先生

【講演要旨】

太宰治の『走れメロス』は、理想の友情を描いた作品として有名です。でも少し変なところもあります。身代わりになったメロスの友人セリヌンティウスは、たった一度メロスが帰ってこないかもしれないと疑ったと言います。メロスをよく知る親友なら、メロスがおよそどのような場面でどのようなことをするかはわかっていたはずですが、それなら帰ってこなかったとしても、それなりのやむを得ぬ理由があったのだろうと思うのが普通でしょうか？

他方、夏目漱石の『坊っちゃん』も、見方によっては友情を描いたものと言うことができます。同僚のうらなり君が、赤シャツたちから不当な扱いを受けたのに憤慨して、連帯して制裁を加える話だからです。

両作品の主人公は、無鉄砲な、どちらかといえばやや無分別な若者という点で、似た所があります。友情を描くには、思索的タイプよりは、行動的タイプの方がぴったりということでしょう。この両作品を友情という点で比較対照することで、友情の本質とは何か、『走れメロス』において隠蔽されているものは何なのかについて解明してみたいと思います。

【講師略歴】

1950年大阪市に生まれる。東京大学教養学科フランス科卒業、東京大学大学院博士課程（哲学専攻）修了、元千葉大学文学部教授。哲学者。

著書に、『ニーチェの遠近法』（青弓社 1996）、『哲学史のよみ方』（ちくま新書 1998）、『魂の美と幸い』（春秋社 1998）、『スピノザという暗号』（青弓社 2001）、『読む哲学事典』（講談社現代新書 2006）、『神学・政治論』（勁草書房 2009）、『正義の哲学』（河出書房新社 2011）、『古代ギリシアの精神』（講談社選書メチエ 2013）などがある。

日時： 2017年 **1月11日（水）18:00**～20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000円**（交流・懇談会費用を含む）

定員： **40名**（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込： 「参加申込書」（裏面）によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

1月9日（月）

必着

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所

けいはんな「ゲーテの会」事務局

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第 43 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2017 年 1 月 11 日 (水) 開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

